

# 委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

## 今号は 福祉環境常任委員会に注目

私たちが  
委員です



萩原 實委員長 風野和視副委員長 林 悦子委員 横田 衛委員 川那子秀雄委員 高田重雄委員

福祉環境常任委員会では、3つの所管（市民生活部・保健福祉部・福祉事務所）に属する事項を調査・審査します。

## 震災後の復興と防災について

視察日 平成22年5月18日(火)～20日(木)  
視察先 兵庫県神戸市・ひめじ防災プラザ・北淡震災記念公園

今回の研修には、常任委員3名、担当課長、職員が出席し、神戸市危機管理

安全なまちづくりの構築が望まれます。

室職員より、平成七年一月十七日に発生し、未曾有の被害をもたらした兵庫県南部地震の被害状況について説明を受けました。

被害の状況は、家屋倒壊はもとより、鉄道、高速道路の倒壊、港の岸壁等の使用不能、埋立地の液状化、ライフラインの寸断等、極めて甚大なものであったとのことでした。

また、住宅供給のため神戸市震災復興住宅整備緊急三カ年計画を策定し、職員が災害に強いまちづくりを

目指して、住民の理解を得るために何度も説明会を実施し、今日の再建に至った経緯について伺いました。

総合計画課職員からは救助状況と復興状況について説明を受け、被災直後に被災者の救助をすることで生存率が高くなるため、皆が

協力して助け合う「自助・共助・公助」が大切であるとのことでした。



神戸市における防災についての視察研修風景

委員会報告は、シリーズで毎号順番に1つの委員会を大きく取り上げて紹介します。

## 「地域づくり事業」を実施

### 総務常任委員会

委員長 大塚秀章 副委員長 増田 豊

委員 増田昇・橋本位知朗・鈴木好史・市村香・大塚健次  
視察日 平成22年5月18日(火)～20日(木)  
視察先 兵庫県丹波市・篠山市  
出席委員 6名(文教常任委員会と合同)

丹波市企画部「心の合併室」では住民自治の機能を高める「自助・互助」の考え方を基本に、住民生活に必要な公共サービスをみんなですべて支え、持続可能な地域社会の実現を目指し、地域における自治意識と問題解決能力の向上につながる施策を「地域づくり事業」として実施しています。

この取り組みは、小学校区を活動単位とし、市民による主体的な連携と交流の地域づくりを支援するため「丹波市地域づくり交付金」を設け、地域コミュニティ活動推進員の設置、活動拠点の確保などの支援を実施しているとのことでした。

また、平成二十二年度からは市民・議会・行政等、市に関するすべてのものが守るべき市の基本的ルールを明確化した「自治基本条例」の策定に向けた取り組みを開始することでした。

桜川市においても「市民が主役のまちづくり」や「市民と行政の協働」を念頭に、市民と行政が一体となつたまちづくりの取り組みが図られることが望まれます。

## 市民との協働によるまちづくりの推進

### 建設経済常任委員会

委員長 中川泰幸 副委員長 岩見正純

委員 上野征一・塚本明・仙波信綱・増田俊夫・皆川光吉  
視察日 平成22年5月18日(火)～20日(木)  
視察先 岐阜県高山市・石川県金沢市  
出席委員 6名

金沢市は、全国で初めて魅力ある町並みを守るために「金沢市伝統環境保存条例」を制定し、その後、「金沢市における伝統環境の保存及び美しい景観の形成に関する条例」へと発展させ、美しく魅力ある景観形成を進めてきました。

その後も、金沢の個性と魅力を高めるため「金沢市こまちなみ保存条例」をはじめ、数多くの独自条例を制定し、観光都市として歴史遺産や町並み、周辺景観の保全に積極的に取り組んでいるとのことでした。

桜川市においても、「真壁地区」が重要伝統的建造物群保存地区

に選定され、地区内の歴史的建造物の修理・修景はもとより、この周辺地域の保全・整備、並びに桜川市全域の質の高い景観の保全に積極的に取り組んでいく必要があります。

そのため、町並み保存、修理・修景等の補助事業の創設や地元の石材・木材を活用し、町並みに調和させた道路や側溝・河川等の一体的な整備、軒下配線を利用した無電柱化、空家を利用した休憩スポット・観光案内所の整備など、市の支援や体制の確立と合わせ、市民との協働によるまちづくりの推進が必要とされています。

## 歴史・文化を生かした地域づくり

### 文教常任委員会

委員長 小高友徳 副委員長 古川静子

委員 菊池節子・小林正紀・相田一良・潮田新正  
視察日 平成22年5月18日(火)～20日(木)  
視察先 兵庫県丹波市・篠山市  
出席委員 3名(総務常任委員会と合同)

篠山市では、市内の文化財を総合的にとらえ、積極的に保存・活用を図り、歴史・文化を生かした地域づくりを進めるため、行政・市民・関係団体連携のもと、まちづくり活動が活発に行われています。中でも、地元の自治会から組織された「篠山まちなみ保存会」の活動は、特に大きな役割を果たしているとのことでした。

「篠山まちなみ保存会」は、城下町の町並み景観の保存、住環境の整備、個性的で魅力あるまちづくりを進めることを目的に伝建地区誕生を機に結成され、保存修理事業の進捗状況や、翌年度の補助

助事業実施候補物件の選考、現状変更行為などの重要な協議が行われ、地域ぐるみの先進地視察研修や勉強会なども開催されているとのことでした。